

報道関係各位

2023年9月28日

狭い場所や低い天井の屋内でも大型発電機の設置が可能
アクティオオリジナル「発電機用可搬式ジャッキ装置」
積み降ろしサービス開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下「アクティオ」)は、狭い建設現場や低い天井の屋内でも大型発電機の設置が可能なアクティオオリジナル「発電機用可搬式ジャッキ装置」を使用した、有償の積み降ろしサービスを 2023 年10月末から開始いたします。



これまで大型発電機を現場に設置する場合、ラフタークレーン※1(50t~80t 程度の使用頻度が高い)を使い揚重※2作業を行ってききましたが、狭い場所や低い天井の屋内へは設置が出来ませんでした。また、ラフタークレーンの特車申請※3 に時間がかかり、すぐに申請許可が下りないなど、緊急を要する案件に対応出来ないという事象も発生していました。

今回の「発電機用可搬式ジャッキ装置」は、スペースの限られた現場や低い天井の屋内に、大型発電機を素早く設置できるアクティオオリジナルの製品として開発しました。発電機の 4 つ角にアタッチメントを取り付け、ジャッキ装置に固定、トラックの荷台より直接アウトリガーを張り出し、油圧ユニットから油圧ホースをジャッキ装置に接続してジャッキの昇降を行なう自揚可能な構造としました。最大で 1,100kVA の発電機を降ろすことが可能となります。

アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、生産性を向上させる製品やサービスを提供していきます。

※1 ラフタークレーン:ラフテレーンクレーンとも呼ばれるクレーン車の一種。トラッククレーンよりもコンパクトで小回りが利き、一つのエンジンでブームと車両を駆動するため、運転席を変えることなく作業が可能

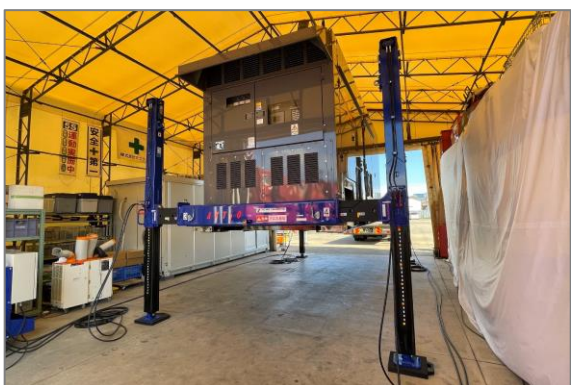
※2 揚重:資材や重量物をクレーンやフォークリフトなどの機械を使って持ち上げる作業のこと

※3 特車申請:特殊車両通行許可申請のこと

■「発電機用可搬式ジャッキ装置」特長

- ①トラックで大型発電機を降ろしたい場所まで移動可能
- ②ラフタークレーンが操作できない狭い空間や低い天井といった狭小スペースでも設置が可能
- ③「特殊車両通行許可」が必要なラフタークレーンを使用しないため、緊急な対応も可能
- ④1,100kVA以下の発電機を降ろすことが可能

■「発電機用可搬式ジャッキ装置」設置の様子



■スペック

ジャッキ伸長能力	(kg)	5,000×4 基
ジャッキ伸縮ストローク	(mm)	1,400
ジャッキ伸長速度※	(mm/min)	上昇 500 下降 1,000
ジャッキスライドストローク	(mm)	455(片側)
ジャッキスライド		手動引出し・格納式
ジャッキスライド時最大張出幅	(mm)	3,680(ジャッキ中心間距離)
電動油圧ユニット	(kw)	電動モータ出力:1.5×2 基、ギアポンプ
電源仕様		3φ200V(50/60Hz)
操作装置		有線式操作スイッチ
質量	(kg)	670×2 セット
安全装置		油圧シリンダロック装置、油圧安全弁、サーマルリレー、漏電ブレーカー

※無負荷 60Hz 時

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ エンジニアリング事業部 パワーシステム部

TEL:03-6666-2205